

NIH、未分類疾患と細胞間コミュニケーションの研究に対する助成を発表（7月2日）

国立衛生研究所（National Institutes of Health : NIH）は7月2日、NIH 共通資金（Common Fund）を通じ、新たに「未分類疾患プログラム（Undiagnosed Diseases Program : UDP）」に7年間で1億4,500万ドルと、「細胞外 RNA コミュニケーション（Extracellular RNA Communication）」に5年間で1億3,000万ドルの助成を行うと発表した。

米国では全人口の約6%が、未分類または希少疾患を持つと推計されているが、UDPは、ゲノムデータを利用し、これらの病気のメカニズムと治療法を特定することを目的としたもので、全米各地の医療研究センターの間に新たにネットワークを構築し、分野横断的な研究を推進する。

一方、細胞外 RNA コミュニケーションプログラムでは、細胞間コミュニケーションに関与する細胞外 RNA の合成・分布・取り込み・機能の研究を推進し、病気診断への活用が目指されることになる。

両プログラムともに2013年度内の始動が予定されている。

National Institutes of Health, NIH Common Fund announces new programs

<http://www.nih.gov/news/health/jul2012/od-02.htm>